

今日からこの孤児院で  
新しくお世話になる  
シスターさんです



皆さんに新しい  
お勉強を教えるため  
教会から来て  
くださったました  
失礼のないように  
お願いいたしますね

シスターさん？

なに勉強するん  
たろう...

前の先生の  
授業も面白  
かったもんなん！

楽しみ！





勉強熱心なのはいいことです

そうですね

強いて言うなら…



なあなあ！  
新しい勉強って  
なにすんの!?

もう！ ご飯中に  
しゃべっちゃダメだよ！  
また院長先生に怒られる…



未来を紡いでいく  
ために必要な…

とても大切な  
こと—

みんな頑張れるかしら？



未来…？

なんだろ…



ふふっ

じゃあ



よくわかんねーけど  
なんかすっげーこと  
なんだな！  
オレがんばる！

ほ…ほくも…  
勉強好き…





あっ♡  
なんか来るっ!

ぞわぞわ

げんげん

来ちゃううっ!?

ぐんぐん

じやげん

シスターさん  
出ちゃうよお!!

ぐんぐん

ちゅちゅ

病気では  
ありませんよ

な...なにこれ...

白いおしっこ...?

ぼくたち  
病気なの...!?

の...飲んじゃダメ  
だよシスターさん...



これを女の人の  
お腹に注ぐと  
子供ができるんですよ…



男の人は君たち  
くらの歳のから  
この白い『精液』  
というものが出る  
ようになるのです



私は君たちが  
社会に出る前に  
そのやり方を  
学ぶために  
来ました

さあ…  
私でいっぱい  
練習しましょうね…♡



乱暴ですよっ…♡

ん…!  
ちよっ…







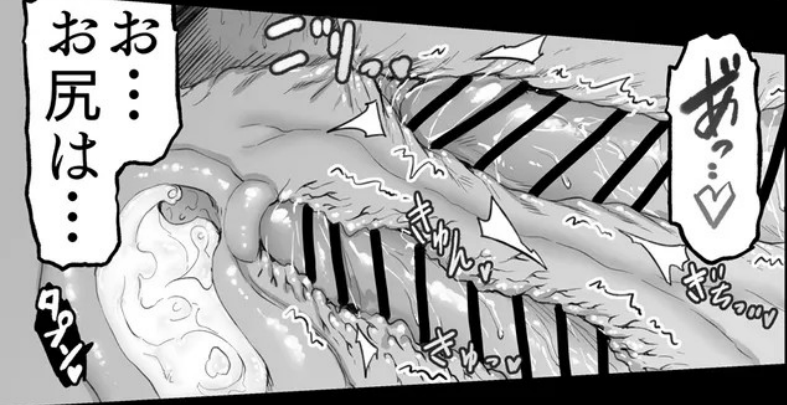
んおおお!?

ズッ



もっ

シスターさんのお腹の中に...!



お尻は...

あっ



お尻に射精しても子供はつ...

いけませんっ♡

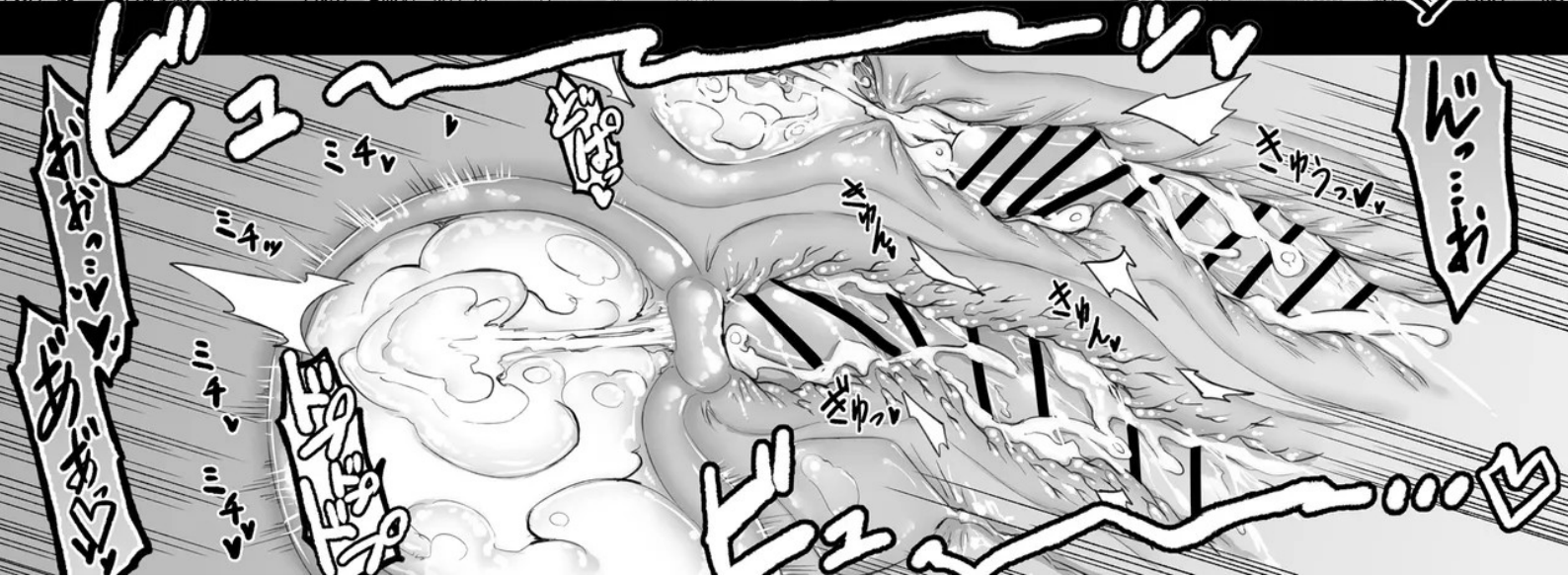
ふあ... 締まっ...!

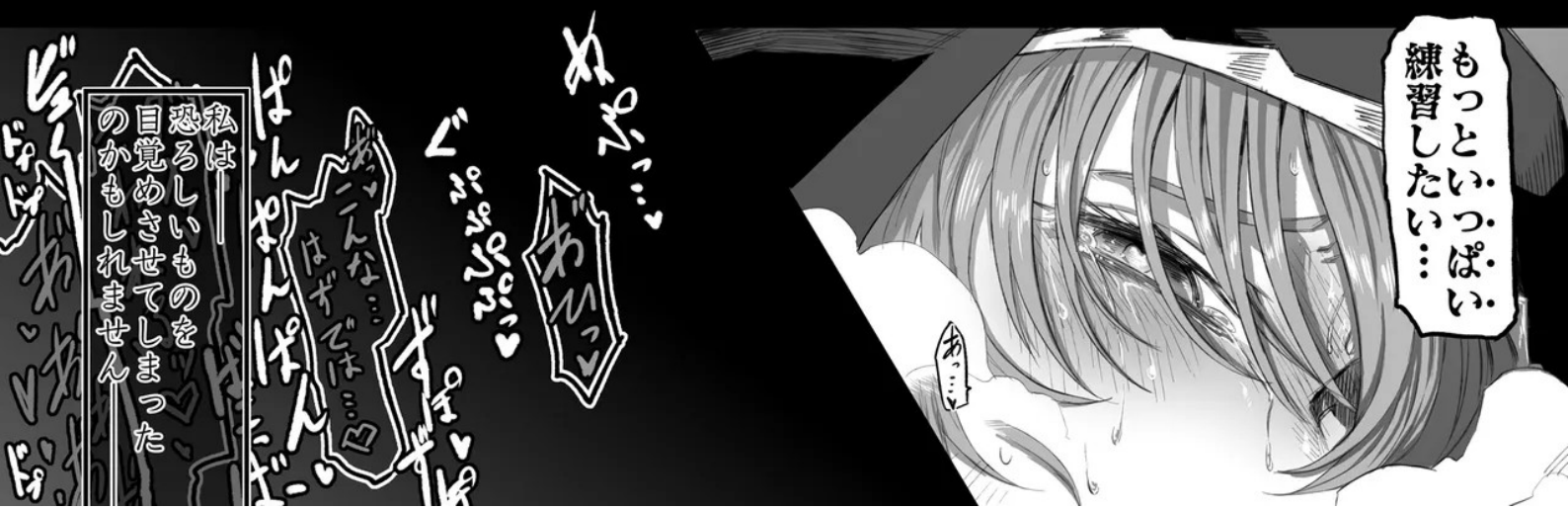
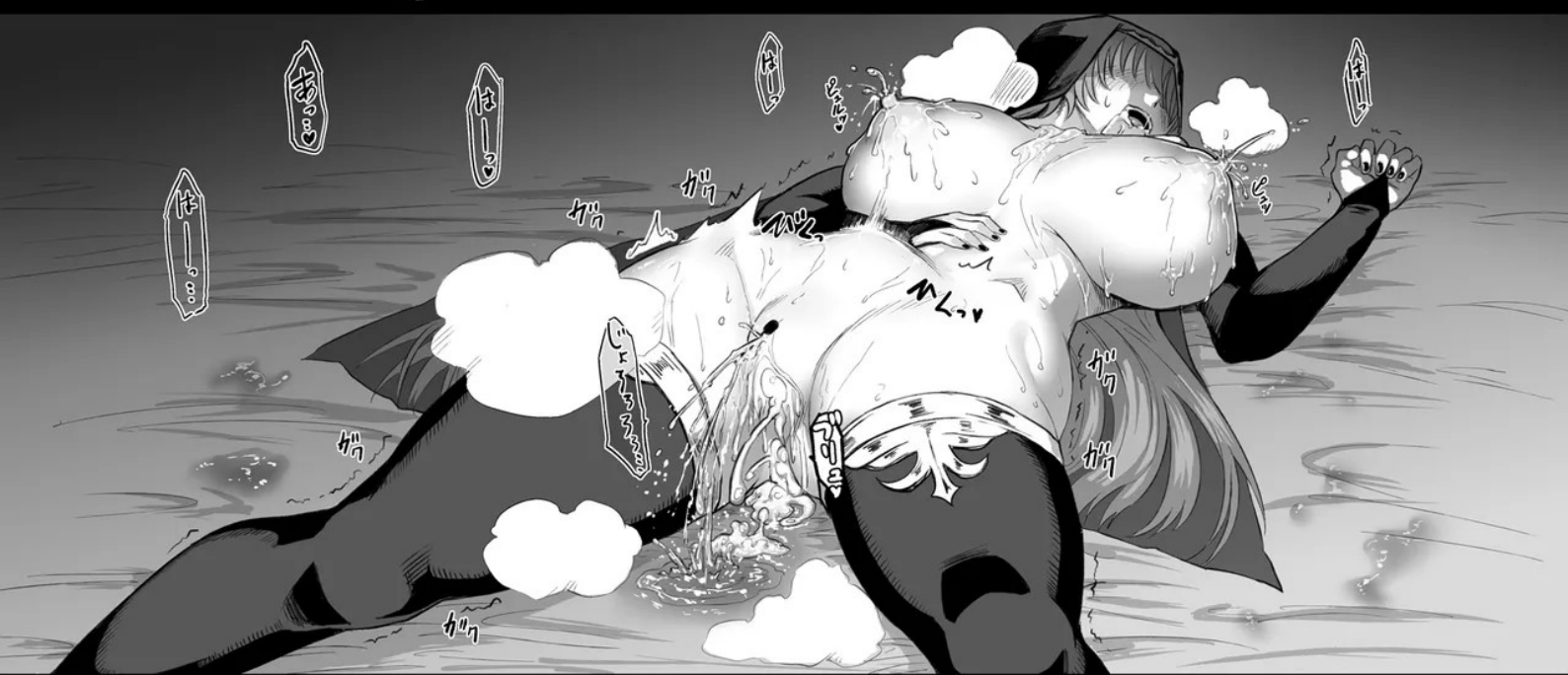


ダメです こんなのお尻に...

あっ











シスターさんっ...!

シスターさん...

シスターさん...

気持ちよくなつてよ...!

シスターさんも

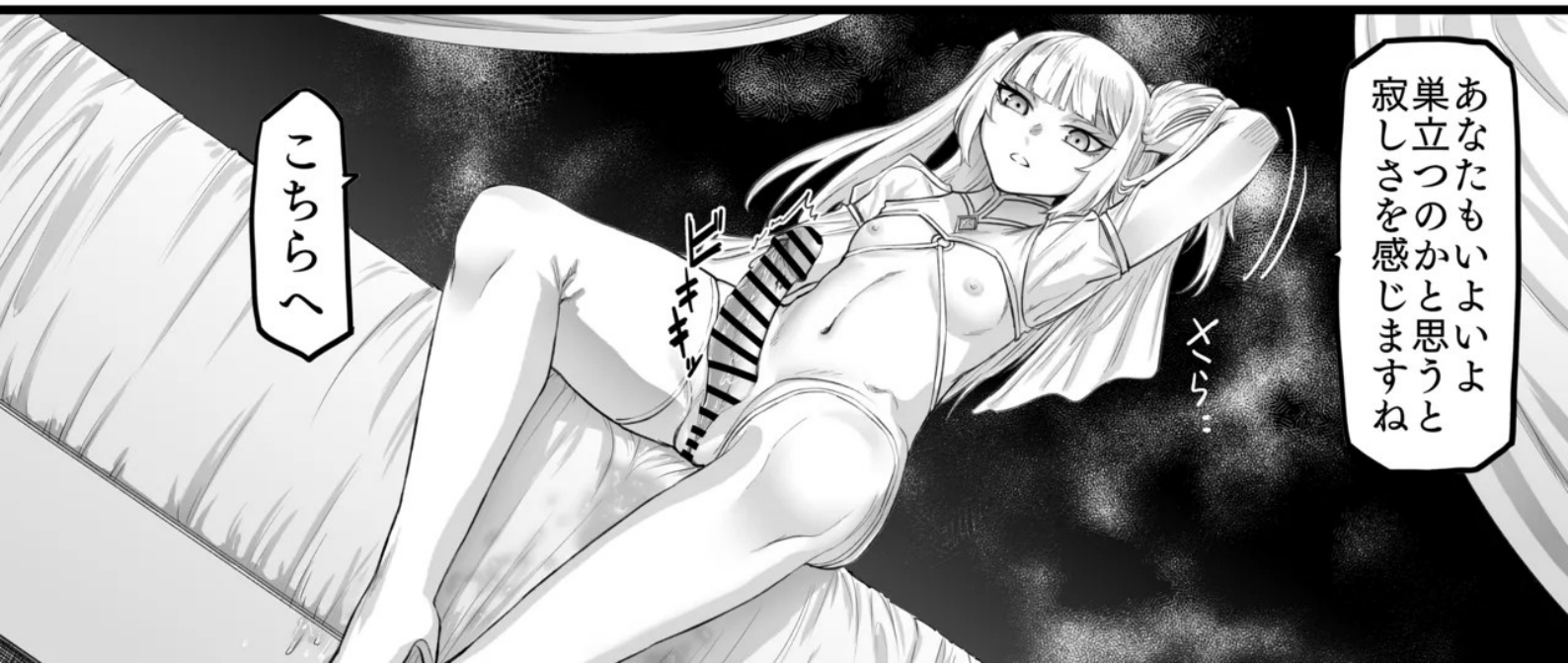
奥まで届いているよー！  
気持ちいい!?

それは...  
子宮があがって...  
下がって...









あなたもいよいよ  
巢立つのかと思うと  
寂しさを感じますね

1555





そう…一滴残らず…

じゅる  
びゅん  
びゅん



…有難く拝受します



びゅん  
びゅん



だって教主様が  
以外の経験  
が…あ

他に何が  
できる  
というの  
です



『産めよ増やせよ』の  
教義を忘れましたか

慰み物になる  
のでなければ  
精々未来への  
礎となりなさい

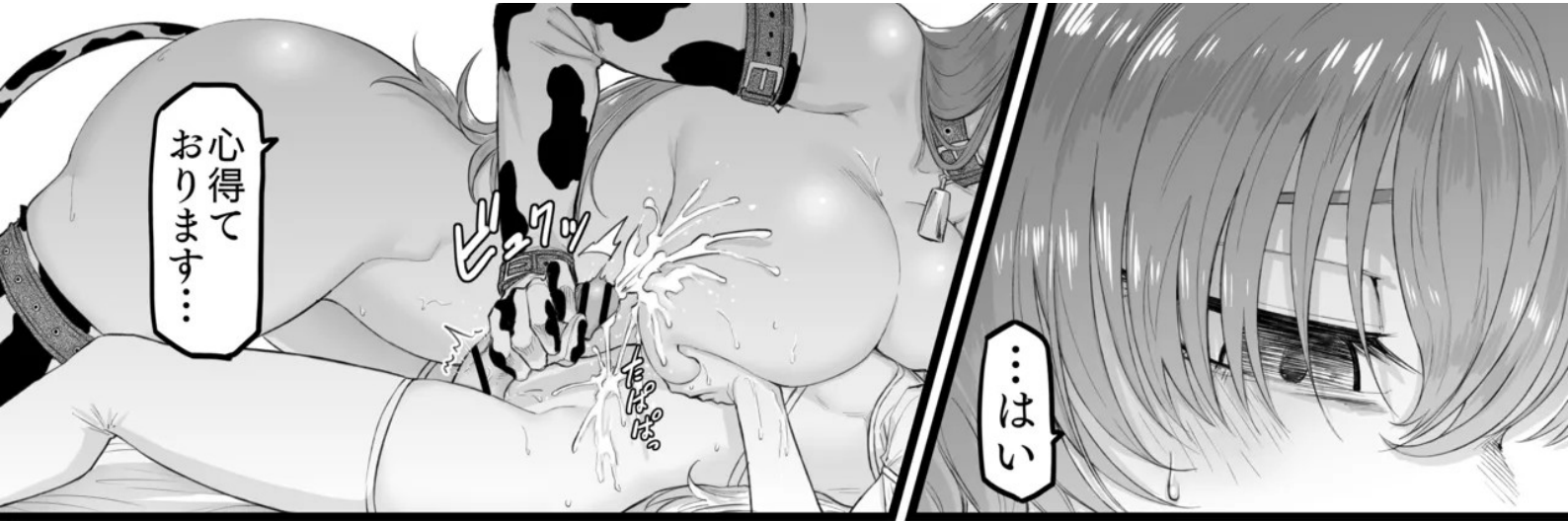


これが最後の  
ことですが…

正直に申し上げて  
自信がありません

私に教育者が  
務まるのでしょうか

今更不安  
なですか  
シスター



「教主様」

「今のこの私の姿は」



「教主様の慰み物ではないのですか」

己の膣壁を把握し陰莖に引っかけ擦りつけなさい!

もっと申しく! 快楽を貪りなさい!

そんな疑念が口をついて出そうになる度教主様は私の深い所をえぐるように突く

力を入れ根元から扱き上げて奉仕し膣奥へ誘うのです!

互いをっ…悦ばせる…善き性交こそが! 妻夫の愛を深くし…

あなたや…

孤児院の子どもたちのような悲劇を減らすのです…!



善<sup>よ</sup>がりなさいっ!

その期待に

「愛されている」

愛を知り また  
それを伝えなさい!

善を為すのです  
シスター!!

私は応えることが  
できない

ダメです 教主様



